

平成30年度第 1 回香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会

○ 総合戦略の取り組み状況

平成30年8月7日開催



総合戦略の策定とその推進にあたっては、香南市において、優先的に取り組むべき課題、及び、国の4つの目標及び政策5原則の趣旨を充分にふまえ、実効性の高い戦略策定を行うとともに、着実かつ確実に推進するための体制を整えながら、その実現に向けて、4つを総合戦略の基本目標を掲げ、まち・ひと・しごとの創生を図る好循環を確立していくこととした。

## 総合戦略の基本目標の達成状況と課題

### ①魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

#### 【成果と課題】

##### （農業）図1

新規農業者について、平成27・28年度は目標達成でき、あわせて目標値の上方修正を行った。しかし、平成29年度は7人の営農開始に終わり、目標達成には至らなかった。 ※高知県中央東農業振興センター調べ

##### （林業）図2

森林境界明確化事業（団地化及び境界明確化）は、夜須町仲木屋地区（35ha）で事業を予定していたが、高知県等関係機関との調整において、翌年度以降の事業実施に変更となり、2年続けての事業未実施となった。

##### （水産業）図3

沿岸漁業総生産量は平成28年度が693トンと例年になく不漁であった。翌29年度は839トン（目標値の69.9%）と前年より増えたが、目標は大きく下回っている。しかし、H29年度の取扱金額は2億9276万円と前年度の1億6478万円より、大きく上回り（前年比177.7%）、所得の向上は図れた。

##### （商工業）図4

製造品出荷額は、371億円（H29工業統計調査）と、目標数値には至らなかった。調査結果を分析すると、前年比で電子部分の製造品出荷額が大きく減少しており、ルネサス高知工場の出荷減少が一つの要因と考えられる。

##### （観光）図5

観光施設入込客数は、目標120万人に対して107.7万人の実績で、目標達成には至らなかった。「志国高知 幕末維新博（H29.3.4開催）」にあわせ、平成29年2月に100万人から上方修正を行い、高い目標を持って取り組んでいるが、観光施設から周辺観光施設等へ周遊させることが課題となっている。

#### 今後に向けて



（農） 新規就農者の増加に向けて、農業大学の学費の助成や、実践型研修ハウスの整備を行い、担い手対策の促進に努める。また、引き続き新規就農者が増えるよう就農支援や補助制度の充実を図る。

（林） 森林境界明確化事業の事業主体となる香美森林組合と連携調整を図り、平成30年度は香南市で事業実施が決定している。事業がよりスムーズに進むよう、事業の同意者を増やすこととしていく。また、山の所有者に「山の持ち主」であることを意識してもらうようPRやとりくみを実施する。

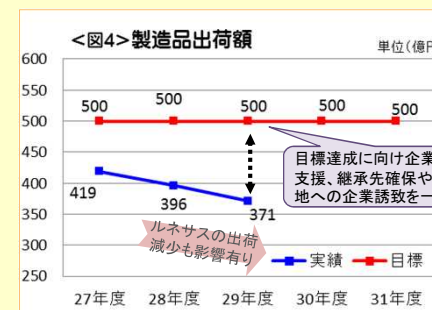
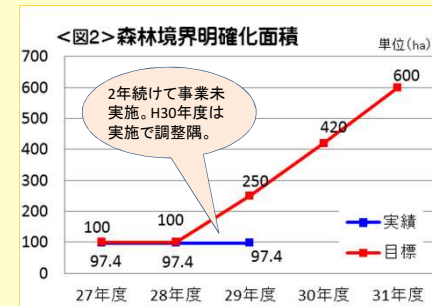
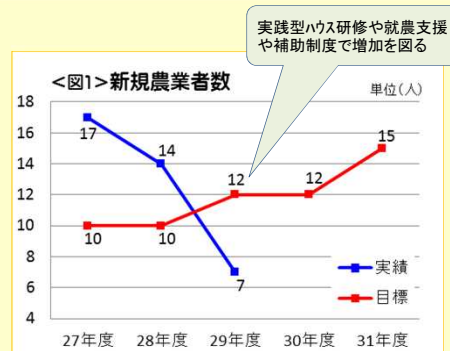
（水） 沿岸漁業の総生産量は好漁、不漁の関係も大きく影響するものであるが、今後は生産量とともに漁獲量の実績も把握を行っていく。

また、現在のシラス流通状況等の情報収集を行い、生産から販売までの過程で必要な対策を掘り起こすために、シラス漁における所得向上対策の検討、協議の場を設ける。

（商） ルネサス高知工場の事業撤退の影響は大きいですが、目標値を下方修正するのではなく、目標値を達成するよう既存企業と新規企業の育成・支援およびルネサス高知工場の事業継承先確保、川谷工業団地への企業誘致に一層とりくむ。

また、商品や製品のPR、消費者の反応を知るために、市外商業施設内で生産者による店頭販売を実施する。

（観） ポスト維新博を見据え、地理的な強みを活かした体験等の磨き上げを行っていく。また、観光を軸にした各分野との連携を視野に入れ、特にスポーツと観光（スポーツツーリズム）の連携に向けて、関係機関等との情報共有を図り、観光客の増加を目指す。





### ②新しい人の流れをつくる

#### 【成果と課題】

●人口の社会増減は、平成28年度は社会減だったが、平成29年度は、82人の社会増となった。(図6) 県外からの移住者は、18組31人が移住相談窓口を通して県外より移住を行っており、平成28年9月からの移住相談員配置の効果がでている。相談員の継続した配置と、相談から移住後のフォローまで、トータルで支援できる体制を整備する必要がある。(図7)

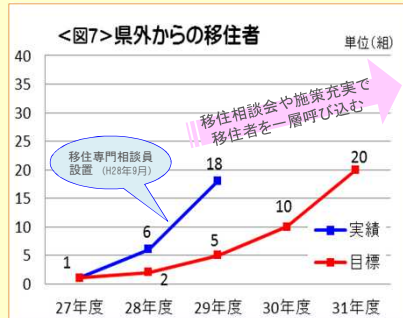
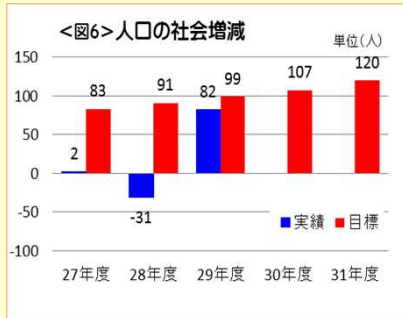
#### 今後に向けて

- 高知県等が主催する県外移住相談会への参加をはじめ、広域で連携した移住ツアーなど、移住者を呼び込む事業を実施していく。
- 他の分野(産業・子育て・観光など)との連携を図り、一層移住・定住の仕組みづくりを進める。

香南市の魅力を伝えたい!



H30年1月から移住専門相談員として活動中の中嶋理歩さん



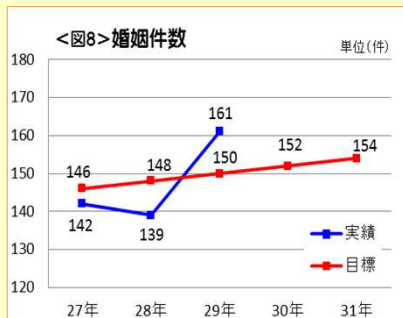
### ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

#### 【成果と課題】

●婚姻件数は、これまで目標を下回っていたが、平成29年は161件で目標を達成。人口動態調査が根拠となり前年の暦年数値となるが、近年では多い件数である。(図8) また、合計特殊出生率は、平成29年度は1.30と目標に届かなかった。出生数も例年に比べると2割ほど少ない。(出生数:H26年度245人、H27年(241人)、H28年度(241人)、H29年度(205人))

#### 今後に向けて

- 引き続き、人生支援計画を柱として、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるための施策を展開する。それら施策の継続した取り組みから、婚姻件数および合計特殊出生率の向上を図り、人生をトータルでサポートしていく。



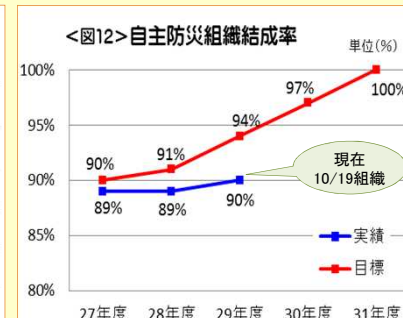
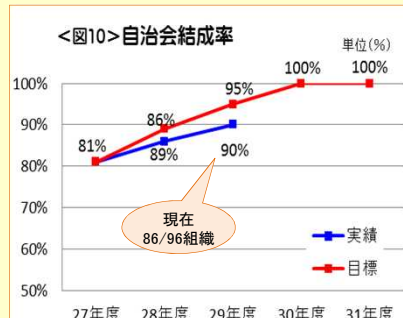
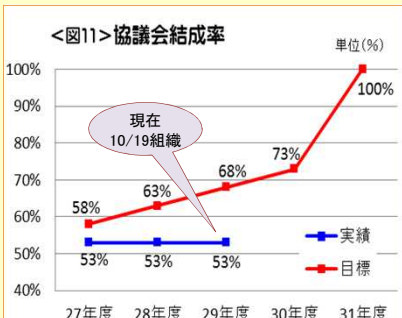
### ④時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心なくらしを守る

#### 【成果と課題】

●協議会は10組織(53%)の現状維持だが、自治会は合計86組織(90%)となった。  
●自主防災組織については、本年度2組織が新たに設立し、101組織(90%)となった。両方とも、新たな組織の立ち上げはできたが、目標数値には至っていない。

#### 今後に向けて

- 協議会や自治会、自主防災組織の未設置地域については、結成率100%を目指して引き続き住民説明会などを通じ、設立に向けた話し合いを担当課および地区担当職員と一緒に進める。
- 既に設立している協議会や自治会、自主防災組織については、活動がマンネリ化することなく、活発な活動となるよう支援や助言等を行う。





H29年度具体的施策

(赤字)地方創生推進交付金関連事業

【基本目標1】魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

【足腰を強め、「地力」を高める】

- (1) 農業の振興
  - ① 農業生産基盤の充実
  - ② 治水・利水整備の促進
  - ③ 担い手対策の促進
  - ④ 農産物ブランド化の推進と加工品の開発
  - ⑤ 消費者の安全安心志向への対応
  - ⑥ 中山間農地の保全と活用の促進
- (2) 林業の振興
  - ① 森林の多面的な活用の促進
  - ② 森林の活用(木質バイオマス利用促進)
- (3) 水産業の振興
  - ① 漁港の改修・整備等の推進
  - ② 漁業経営の基盤強化
  - ③ 漁場の保全
  - ④ 観光漁業の推進
  - ⑤ 水産加工品流通販売の推進
- (4) 農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化
  - ① 地産地消の推進
  - ② 加工・流通・販売などの体制を強化

【分野を超えた産業間の連携を強化する】

- (1) 6次産業化による地産地商の徹底
  - ① 地産地商の拠点(直売所)の機能拡充
  - ② 地域内での創意工夫によるコミュニティビジネスの支援
- (2) 観光拠点形成とネットワーク構築
  - ① 資源の再発見(価値化・付加価値化)
  - ② 観光・交流の場づくり(地域住民参加)
  - ③ 観光旅行会社(企画)とのタイアップによる複数観光ルートの構築
  - ④ 物部川流域3市での観光振興
- (3) 産業人材の育成・確保
  - ① 雇用支援、企業支援のための情報発信、情報入手の場(拠点)の整備

【新たな産業づくりに挑戦する】

- (1) 商工業の振興
  - ① 企業誘致の促進
  - ② 既存企業の育成・支援
  - ③ 魅力ある商業地・商店街づくり

【基本目標2】新しい人の流れをつくる

【移住・定住促進のためのしくみづくり】

- ① 「香南市を知って、好きになってもらう」魅力、多様な情報の発信
- ② 若年層の交流・情報交換やイベント開催
- ③ 産官学連携、人材育成による暮らしと産業が調和した自立地域への支援
- ④ 移住促進

【基本目標3】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【人生をトータルでサポートする体制づくり】

- ① ライフステージに応じた切れ目ない支援
- ② 若者の出会いの場づくり

【子ども、子育て支援・環境の充実支援】

- ① 子育てを支える地域の育成
- ② 子育て施策の充実
- ③ 多様な保育事業・放課後児童クラブの拡充

【基本目標4】時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしをまもる

【協働のまちづくり推進】

- ① 住民組織との情報交換
- ② 地域活動の支援体制強化

【交流人口拡大】

- ① 集落活動センター(小さな拠点整備)
- ② 地域団体の活動促進、支援充実
- ③ 歴史・食・体験等による交流人口の拡大

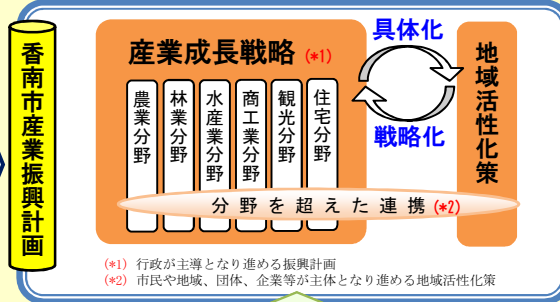
【災害に強いまちづくり】

- ① 耐震化の促進、災害時備蓄品整備の充実
- ② 自主防災組織の設立・活性化
- ③ 災害時における地域の支え合いづくり
- ④ 消防・防災対策の強化

【大学との連携】

- ① 大学との連携

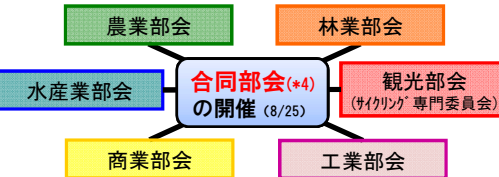
H29年度取り組み状況の概要



(※1) 行政が主導となり進める振興計画  
(※2) 市民や地域、団体、企業等が主体となり進める地域活性化策

情報収集 → 意見交換

産業振興計画推進分野別部会(※3)の開催 (H27.10.30設置)



(※3) 計画の進捗状況の検証や評価、新たな取り組みなど、産業振興計画を着実に推進できる体制の整備  
(※4) 分野別部会の部会員と策定委員会の委員が一堂に会し、意見交換する合同会議

人口減少問題を考える会(※5)の開催 (3回)

各課職員20~40代の子育て世代や未婚の者を中心に編成。さらに保護者と大学生のメンバーを追加し、4つの班に分かれ、テーマを決めて、人口増加施策や人口減少を食い止める施策の検討を行った。

(※5) H27年度から設置

テーマ 1班 子どもの教育をメインに	テーマ 2班 子育て施策を目玉に
テーマ 3班 親も子どもも喜ぶ取り組み	テーマ 4班 移住者の起業支援と子育て

◆各班からの取り組み提案内容事業(抜粋)

- ・香南ライフまるごと体験バック (お試し住宅で生活を体験してもらう)
- ・香南チョイス事業 (Uターン者に移住に要する経費を限度内でいくつでも補助)
- ・子育て支援センターでの病後時保育の充実
- ・給食費や保育園、幼稚園の第2子・第3子を無料化
- ・移住者への発信方法の見直し
- ・地域おこし協力隊(保育士版)雇用や保育士奨学金の実施

★人生支援計画や産業振興計画の施策との連携による、効果的な事業展開を企画する総合戦略企画会議を開催(7/11)

H30年度の取り組みについて

★産業振興計画推進分野別部会による取り組みを継続  
・分野別の部会が機能しはじめたことにより、実質的な議論の展開が図られている。また、部会は当事者として意見を出し合い、策定委員会との連携を図っている。これら取り組みを継続して実施。

★分野別部会の部会員および策定委員による合同会議を継続  
・平成29年度に合同会議を開催し、他の分野の部会員と意見交換が行え、分野を超えたつながりを持つことができた。これら取り組みを継続して実施。

- ★新たな事業等への取り組み
- ＊農業大学校就学助成事業(移住連携)
  - ＊実践型研修ハウス整備事業
  - ＊園芸用ハウス整備事業(拡充)
  - ＊吉川漁港海岸堤防耐震調査事業
  - ＊街パルイベントの実施
  - ＊産業人材育成事業(拡充)(移住連携)

NEW

産業振興と雇用の創出で人口増へ

★新たに分野別部会を設置

・人生支援計画を着実に推進できる体制の強化として、人生の各世代(幼年就学期部会・成年熟年期部会・高齢期部会)ごとに部会を設置し、その部会ごとに世代に応じた施策の検討を行う。

★人口減少問題を考える会を総合戦略企画会議に移行  
・平成27年度から人口減少問題を考える会で行ってきた施策の検討は、上記の新たな分野別部会において検討を行い、人口減少問題を考える会での取り組みは総合戦略企画会議で行う。

★新たな事業等への取り組み

- ◎香南市ウエルカム移住・定住促進事業
  - ・香南市空き家改修事業費等補助金(拡充)
  - ・移住・定住引越し支援事業補助金
  - ・こうなんワーキングホリデー補助金
  - ・移住者アンケートの実施
- ＊地区別懇談会(地域主催分)の開催(拡充)
- ＊地域おこし協力隊員募集(拡充)
- ＊保育園、幼稚園の第2子保育料無料化(拡充)

NEW

人の流れをつくり、若い(すべての)世代の希望をかなえることで人口増へ

★新たな事業への取り組み

- ＊避難誘導標識整備事業
- ＊自主防災組織への資機材整備補助金(拡充)

★れんげいこうち広域都市圏を形成し、高知市と連携して事業に取り組み、香南市の活性化を図る。

★総合戦略企画会議を継続して開催し、社会増実現のための施策や方向性について検討する。